

平成20年3月期 第1四半期のご報告にあたって

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平成20年3月期第1四半期（平成19年4月1日から同年6月30日まで）連結決算の概要をこのウェブサイトを通じてご報告いたします。

当社は、昨年5月に平成18年度から20年度までの3ヵ年の中期経営計画「FORWARD (フォワード) 08」を策定しました。本計画では『グループ総力をあげての成長を図り、新たな事業付加価値の増大を目指す』ことを最重要テーマとして掲げ、情報機器事業及びオプト事業を中心とした事業強化に取り組んでいます。

当第1四半期の売上高は前年同期比4.6%増収の2,524億円となりました。また、営業利益も前年同期比11%増益の247億円、四半期純利益は同52.9%増益の161億円となりました。

このように、「FORWARD 08」2年目となる平成19年度は順調なスタートを切ることができました。フォトイメージング事業の終了に伴い当期より同事業の売上はなくなりましたが、カラーMFP（デジタルカラー複合機）の販売が国内外で好調な情報機器事業が中心となって当社グループの売上と利益の成長を力強く牽引しました。事業別の状況につきましては、次ページ以降の営業概況の中で詳しくご説明しておりますので是非ご覧ください。

第2四半期以降の当社を取り巻く内外の経済環境の変化や競争環境も益々厳しくなることが予想されますが、「FORWARD 08」の諸施策をゆるぎなく遂行し、グループ総力をあげて当期業績目標の必達に向けて邁進する所存です。株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

平成19年8月

コニカミノルタホールディングス株式会社

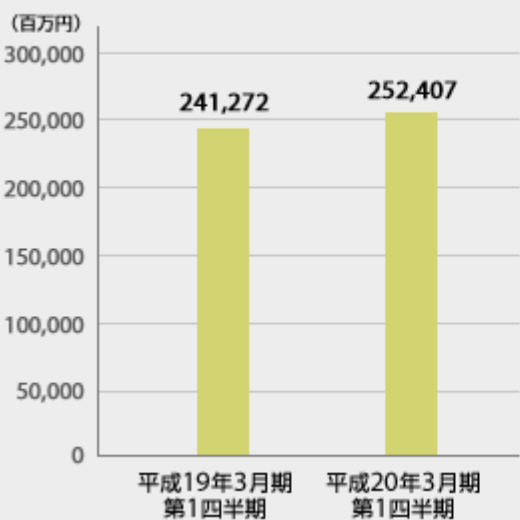
代表執行役社長 太田 義勝

## 連結財務ハイライト

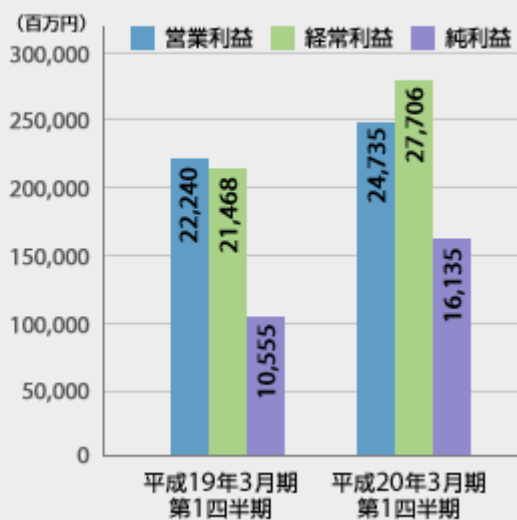
(単位：百万円、未満切捨)

	平成20年3月期第1四半期	平成19年3月期第1四半期	増減
売上高	252,407	241,272	11,134
営業利益	24,735	22,240	2,494
経常利益	27,706	21,468	6,238
四半期純利益	16,135	10,555	5,579

### 売上高の比較



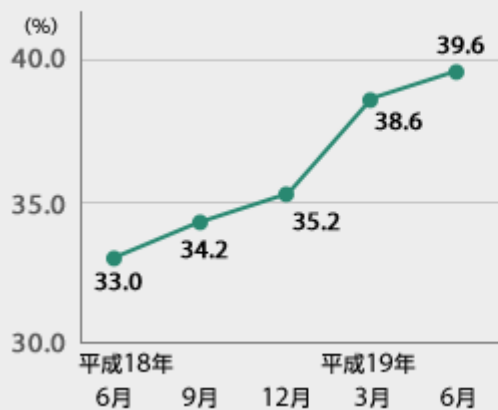
### 営業利益・経常利益・純利益の比較



(単位：百万円、未満切捨)

	平成20年3月期第1四半期	平成19年3月期第1四半期	増減
総資産	972,856	915,433	57,423
純資産	386,516	305,238	81,278
自己資本比率(%)	39.6	33.0	6.6
有利子負債	232,286	230,712	1,573

### 自己資本比率の推移



### 有利子負債残高の推移



(単位：百万円、未満切捨)

	平成20年3月期 第1四半期	平成19年3月期 第1四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,811	2,774
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,123	△10,984
フリー・キャッシュ・フロー	1,687	△8,210
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,916	△6,955
現金及び現金同等物の四半期末残高	85,334	65,960

営業概況（平成19年4月1日～同年6月30日の3ヶ月）

第1四半期としては、過去最高益

### 連結売上高

**2,524** 億円（前年同期比 +4.6%）  
（実質ベース（フォトイメージング事業除く）前年同期比 +12.6%）



カラーMFP（デジタルカラー複合機）の販売が引き続き好調な情報機器事業や次世代DVD用ピックアップレンズなど成長製品をもつオプト事業などが当社グループの成長を牽引し、フォトイメージング事業の終了に伴う売上減少分を補い、前年同期比で4.6ポイント上昇し、2,524億円となりました。フォトイメージング事業を除いた実質ベースの比較では前年同期比で12.6%の増収となりました。

### 営業利益

**247** 億円（前年同期比 +11.2%）  
営業利益率 9.8%（前年同期 9.2%）



競争激化に伴う価格下落や銀など原材料価格高騰の影響を、コストダウンの取り組みや販売数量の増加などで吸収、また為替の円安効果もあり、売上総利益率は前年同期の49.0%から49.9%へと上昇しました。販売費及び一般管理費は、カラーMFPに注力する情報機器事業など成長分野を中心とした研究開発費の増加など前年同期比で54億円の増加となりました。その結果、営業利益は247億円となり前年同期比24億円（11.2%）の増益となりました。

### 経常利益

**277** 億円  
（前年同期比 +29.1%）



### 四半期純利益

**161** 億円  
（前年同期比 +52.9%）



営業外損益で円安に伴う為替差益の好転などがあった結果、経常利益は前年同期比62億円（29.1%）増益の277億円となりました。また、税金等調整前四半期純利益は274億円（前年同期比23.4%増）、四半期純利益は161億円（前年同期比52.9%増）となりました。

中期経営計画「FORWARD 08」の確実な遂行、注力分野に積極投資

平成18年度から始まる3ヵ年の中期経営計画「FORWARD 08」のもと、成長分野への集中と「ジャンルトップ戦略（特定の事業領域、市場に経営資源を集中して、その中でトップブランドの地位を確立する）」の確実な遂行によって、グループの成長とグループ企業価値の最大化に取り組んでいます。

これに沿って、液晶パネルの基幹部材として需要拡大が続くTACフィルム（偏光板用保護フィルム）の第5製造ライン（兵庫県神戸市）の建設への積極投資を行った結果、設備投資額は227億円となりました。

財政状況

## 総資産

9,728 億円 (前期末比 +218億円)

有形固定資産等が増加したことが主な要因です。有利子負債は29億円増加の2,322億円となりました。

## 純資産

3,865 億円  
(1株あたりの純資産 725.59円)

## 自己資本比率

39.6%  
(前期末比 +1ポイント)



主として利益の創出による利益剰余金が増加しました。

## 営業活動によるキャッシュ・フロー

218 億円

税金等調整前四半期純利益274億円に加え、減価償却費、売上債権の減少等によりキャッシュを創出したものの、たな卸資産の増加、仕入債務の減少、法人税等の支払い、フォトイメージング事業の事業撤退損失引当金の減少等により、218億円となりました。

## 投資活動によるキャッシュ・フロー

△ 201 億円

主に情報機器事業及びオプト事業における有形・無形固定資産の取得により、201億円の支出となりました。

## フリー・キャッシュ・フロー

16 億円

## 財務活動によるキャッシュ・フロー

△ 49 億円

配当金の支払い53億円等により49億円の支出となりました。

## 当四半期末の現金及び現金同等物の残高

853 億円

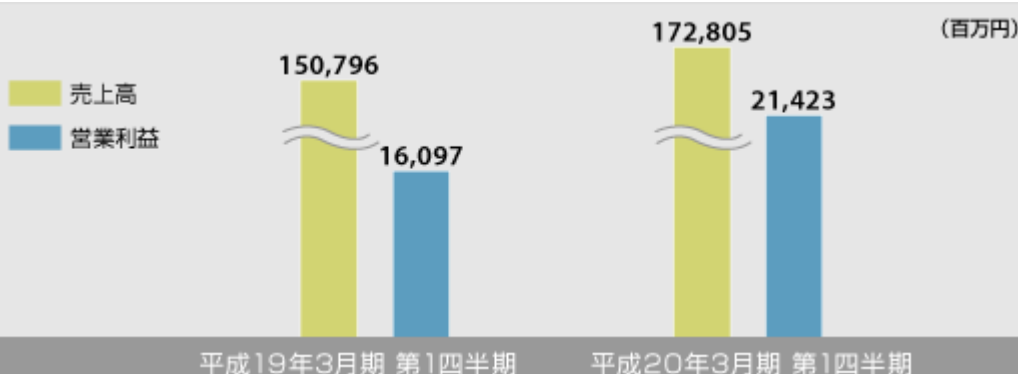
前期末残高に比べ12億円減少しました。

## セグメント別営業概況

情報機器事業：MFP（デジタル複合機）、プリンタなど

前年同期比：14.6%の増収、33.1%の増益

↳ 主力のカラーMFPが引き続き成長を牽引。



## MFP分野：

「ジャンルトップ戦略」のもと、国内外市場において需要成長が続いている一般オフィス向けカラーMFPの販売拡大に注力しています。当四半期は、高速領域に重点をおいて新製品を集中して投入するなど、「bizhub（ビズハブ）シリーズ」のカラーMFPの品揃えを一層強化しました。新開発の重合法トナーとタンデムエンジンによる高画質・高生産性と最新のネットワーク機能・セキュリティ機能を装備するなど高い商品競争力を有しており、これら新製品を中心としてカラーMFPの販売は好調に推移しました。また、プロダクションプリント分野では、大企業の社内印刷部門や大手フランチャイズプリントショップなどを主要顧客として高い成長が見込まれています。当社は当分野においても事業拡大に注力しています。「bizhubPRO（ビズハブプロ）シリーズ」のカラー及びモノクロ高速MFP全4機種と品揃えも充実し、米国市場を中心に販売は好調に推移しました。

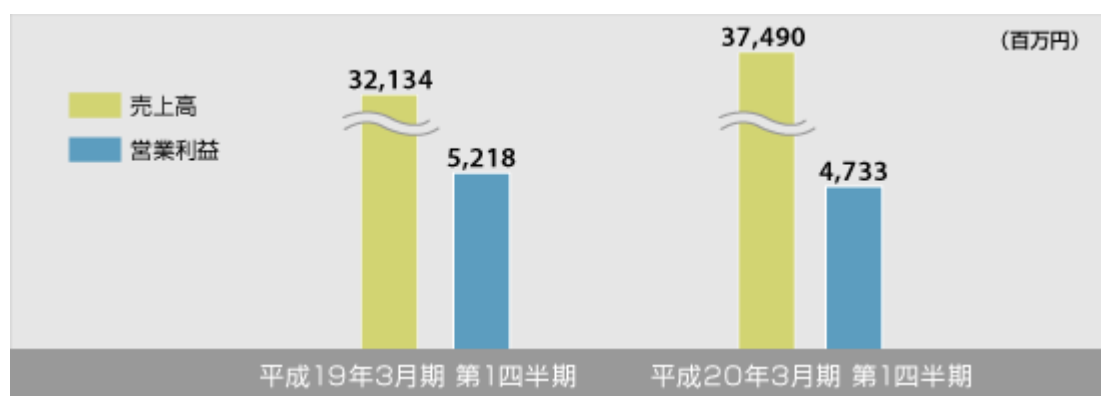
## プリンタ分野：

これまで以上に大量プリントが見込まれる一般オフィスをターゲットとして中高速セグメントのタンデムカラーレーザープリンタ「magicolor（マジカラー）5570シリーズ」などの販売強化に積極的に取り組みました。

## オプト事業：光学デバイス、電子材料など

前年同期比：16.7%の増収、9.3%の減益

↳ 売上は順調に推移するも、液晶関連部材に対する価格圧力の影響や生産設備増強に関わる減価償却費の負担増で減益。



## ディスプレイ部材分野：

昨年9月に竣工したTACフィルムの第4製造ラインの本格稼働により生産能力を増強し、特に、本年1月から新製品への切り換えを進めてきた視野角拡大フィルムはお客様からの評価が高く、成長拡大が続く大型液晶テレビ向けの販売は好調に推移しました。

## メモリー分野：

主力製品である光ディスク用ピックアップレンズは、CD向けなどで販売が減少しましたが、DVD向けではハイエンド製品の需要が回復し始めました。また、BD（ブルーレイディスク）やHD-DVDなど次世代DVD向けの販売は堅調に推移しました。ガラス製ハードディスク基板は、顧客サイドの在庫調整の影響もあり当四半期は前年並みの販売に留まりましたが、垂直磁気方式への対応は順調に進んでいます。

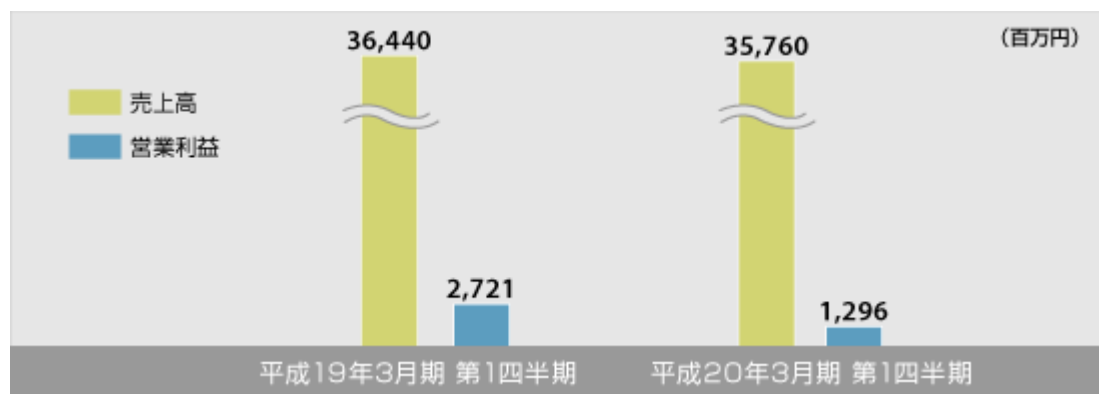
## 画像入出力コンポーネント分野：

国内外の有力顧客向けにカメラ付携帯電話用のマイクロカメラモジュール/マイクロレンズユニットの販売が大きく伸びました。

## メディカル&グラフィック事業：医療用・印刷用製品など

前年同期比：ほぼ前年同期並み売上高、52.4%の減益

↳ 売上は、ほぼ前年同期レベルを維持するも、フィルムの原材料となる銀価格の高騰の影響や研究開発費の増加などもあり減益。



医療・ヘルスケア分野：

デジタルX線画像読取装置「REGIUS（レジウス）」シリーズや画像出力装置「DRYPRO（ドライプロ）」シリーズ等のデジタル入出力機器の販売強化に注力しました。当四半期は、診療所やクリニックなどにおけるIT化に対応した新製品「REGIUS MODEL 110」の販売を本年6月より開始しました。これらデジタル入出力機器の販売は、新製品導入後まだ間もないこともあり前年比微増に留まりました。

印刷分野：

印刷工程のデジタル化に伴いフィルムレス化の傾向が一層進行する中、販売強化に取り組んでいる海外市場を中心にフィルム販売は堅調に推移しました。また、デジタル機器販売では、独自開発のRIP技術を搭載したオンデマンド印刷システム「Pagemaster Pro（ページマスタープロ）6500」の拡販に積極的に取り組みました。

その他

計測機器事業：色計測・三次元計測機器など

**前年同期比：17.2%の増収、69.8%の増益**

独自の光計測技術を活用して、測色計・輝度計・照度計・血中酸素濃度計・黄疸計・三次元形状測定器などユニークな計測機器を国内外のお客様に提供しています。分光測色計など物体色を中心とした色計測分野での販売が堅調に推移しました。また、三次元計測分野では、工業用途・学術用途向けに三次元デジタルサイザ（三次元で形状測定する装置）「Vivid（ヴィヴィッド）9i」などの販売強化に取り組みました。

産業用インクジェット事業：プリンタヘッド及びインク、テキスタイルプリンタなど

**前年同期比：5.4%の増収、24.1%の減益**

当社の保有するインクジェット技術や化学、インクに関する独自技術を活かして大手産業用プリンタメーカー向けに高精度プリンタヘッドやインク、及びテキスタイルプリンタ用として大型インクジェットプリンタの販売を行っています。経済成長が続く中国市場向けに需要が伸びている屋外広告用大判プリンタのプリントヘッドの受注を複数の有力プリンタメーカーから獲得しました。

連結財務諸表（要約）

貸借対照表

（単位：百万円、未満切捨）

勘定科目	平成20年3月期 第1四半期 (H19.6.30)	平成19年3月期 第1四半期 (H18.6.30)	増減	平成19年3月期 (H19.3.31)
現金及び預金	83,959	65,960	17,998	85,677
受取手形及び売掛金	243,958	229,992	13,966	257,380
たな卸資産	151,397	146,765	4,631	133,550
その他	71,971	67,048	4,922	67,628
流動資産合計	551,286	509,766	41,519	544,237
有形固定資産	243,411	224,012	19,398	230,094
無形固定資産	96,708	100,896	△4,188	97,971
投資その他の資産	81,450	80,757	693	78,748
固定資産合計	421,570	405,666	15,903	406,814
資産合計	972,856	915,433	57,423	951,052
支払手形及び買掛金	120,233	113,067	7,165	121,707
有利子負債	232,286	230,712	1,573	229,364
その他	233,820	266,414	△32,593	231,355
負債合計	586,340	610,194	△23,854	582,427
資本金	37,519	37,519	—	37,519
資本剰余金	204,140	204,141	△0	204,143
利益剰余金	126,528	53,099	73,429	115,704
自己株式	△1,136	△942	△194	△1,097
株主資本合計	367,052	293,818	73,234	356,269
評価・換算差額等合計	18,022	8,588	9,433	11,198
新株予約権	151	—	151	108



少数株主持分	1,290	2,831	△1,541	1,048
純資産合計	386,516	305,238	81,278	368,624
負債及び純資産合計	972,856	915,433	57,423	951,052

連結財務諸表（要約）

損益計算書

（単位：百万円、未満切捨）

	平成20年3月期 第1四半期 H19.4.1～H19.6.30		平成19年3月期 第1四半期 H18.4.1～H18.6.30		増減		平成19年3月期 H18.4.1～H19.3.31	
	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	金額	増減率 (%)	金額	百分比 (%)
売上高	252,407	100.0	241,272	100.0	11,134	4.6	1,027,630	100.0
売上原価	126,380	50.1	123,146	51.0	3,233	2.6	532,714	51.8
売上総利益	126,026	49.9	118,126	49.0	7,900	6.7	494,916	48.2
販売費及び一般管理費	101,291	40.1	95,885	39.8	5,406	5.6	390,909	38.1
営業利益	24,735	9.8	22,240	9.2	2,494	11.2	104,006	10.1
営業外収益	6,629	2.6	2,223	0.9	4,406	198.2	14,653	1.4
営業外費用	3,657	1.4	2,995	1.2	662	22.1	20,559	2.0
経常利益	27,706	11.0	21,468	8.9	6,238	29.1	98,099	9.5
特別利益	81	0.0	1,095	0.4	△1,013	△92.6	11,848	1.2
特別損失	297	0.1	277	0.1	20	7.3	5,058	0.5
税金等調整前 四半期(当期)純利益	27,490	10.9	22,286	9.2	5,204	23.4	104,890	10.2
税金費用	11,321	4.5	11,662	4.8	△340	△2.9	32,135	3.1
少数株主利益	33	0.0	68	0.0	△34	△50.5	213	0.0
四半期(当期)純利益	16,135	6.4	10,555	4.4	5,579	52.9	72,542	7.1

連結財務諸表（要約）

キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円、未満切捨）

	平成20年3月期 第1四半期 H19.4.1～H19.6.30	平成19年3月期 第1四半期 H18.4.1～H18.6.30	平成19年3月期 H18.4.1～H19.3.31
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	21,811	2,774	66,712
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,123	△ 10,984	△56,401
I+II. フリー・キャッシュ・フロー	1,687	△ 8,210	10,311
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,916	△ 6,955	△5,170
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	1,976	30	322
V. 現金及び現金同等物の増減額 （減少:△）	△1,252	△ 15,134	5,463
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	86,587	80,878	80,878
VII. 新規連結等による現金 及び現金同等物の増加額	—	216	245
VIII. 現金及び現金同等物の 四半期末（期末）残高	85,334	65,960	86,587

## トピックス

### 経営関係



中国に情報機器新製品等のソフトウェア品質評価会社を設立

▶ [プレスリリース](#)



インドの大手IT企業と提携、ソフトウェア開発拠点を設立

▶ [プレスリリース](#)

### 事業関係



オフィスの生産性を追求、高速デジタルカラー複合機「bizhub C650」を発売

▶ [プレスリリース](#)



IT化を目指す診療所に最適な、デジタルX線画像診断システムを発売

▶ [プレスリリース](#)

### CSR関係



視覚障がい者支援用「立体コピーシステム パートナービジョン」を発売

▶ [プレスリリース](#)

▶ [カタログ\(PDF:2.6MB\)](#)



「コニカミノルタCSRレポート2007」を発行・WEBサイト上でも公開

▶ [プレスリリース](#)

▶ [CSRの取り組み](#)

### その他



「ランニングプロジェクト」始動、プロジェクトテーマは“Run Support”

▶ [プレスリリース](#)

▶ [ランニングプロジェクト](#)



「サンシャインスターライトドーム“満天”」ご来場者数100万人を突破

▶ [プレスリリース](#)

▶ プラネタリウム満天